

## えひめ教育の日 実施状況

えひめ教育の日とは

愛媛県では、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として「えひめ教育の日」（毎年11月1日）、「えひめ教育月間」（毎年11月）を制定し、学校や行政だけではなく、家庭や地域などが一体となって、教育の推進を図ることとしています。

今年度、本校では、「えひめ教育月間」中の行事として、人権・同和教育講演会、保育園での体験学習、公開授業を実施しました。

事業名	人権・同和教育講演会
日時	平成29年11月10日(金)
場所	愛媛県立宇和島東高等学校 体育館
参加者	保護者、一般来場者、本校生徒、本校職員など約910名が参加
<p>毎年、11月に人権・同和教育の一環として、講演会を行っています。</p> <p>本年度は11月10日(金)に、講師としてトラストコーチング シニアコーチの高城直美先生をお招きして開催いたしました。御講演では、「伝わったことが伝えたことー小さな命が教えてくれたことー」の演題でお話をお聞かせいただきました。生徒たちは、日頃のコミュニケーションの在り方を見直し、良好な人間関係を築くためのスキルを教わりました。生徒の感想文の中には、「言葉のキャッチボールは難しいことですが、きちんとできたら生活が楽しくなり、明るく生きられると思う。」などの感想が多くあり、様々なことに気付きがあったようです。他者との対話を通して、人権感覚を磨いていく大切さを再認識する良い機会とすることができました。</p> <p>今回の講演を糧として、急速に多様化が進む現代社会にふさわしい人権意識を高めていけるよう、生徒とともにこれからの教育活動に励んでいきたいと思ひます。</p>	



事業名	保育園での体験学習
日時	平成29年10月30日～11月2日
場所	立正保育園、尾串保育園
参加者	1年普通科、2年商業科Ⅱ型、3年商業科Ⅰ型
<p>保育園訪問当日は、園児の元気いっぱいの自己紹介から始まりました。初対面の子どもたちとお互い慣れるために、手をつないだり、抱っこをしたり、身体に触れあうゲームやダンスを通して距離を縮めていきました。</p> <p>園児との交流を通して、心身の発達段階や個々の個性を理解し、保育者の立場で子どもを受け入れる様子が見られました。また、給食を一緒に食べることで、子どもの生活の様子を身近に感じることができました。</p> <p>家庭科の授業で、子どもの心を育てる物語を考え、視覚や聴覚を刺激できる手作りの紙芝居を作成し、読み聞かせを実施しました。</p> <p>生徒の感想の中には、「交流を通して子どもの素直さや、子どもを育てる大変さを改めて学べた。」「子どもの遊びには、自由があり、自由に身体や頭を働かせることで、いろいろな力の基が育まれるんだと感じた。」などいろいろな面に気付く生徒が多くいました。また、普段の学校生活では見ることができないクラスメートの素顔にも触れることができ、体験ならではの学習効果を実感しました。</p>	

